



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ 「世界に希望を生み出そう」 R.I. 会長 ゴードンR・マッキナリー

2023~
2024年度
テーマ

R.I.2720地区テーマ 「ロータリーは学舎であり、遊び場である」
「そして、ロータリーアクションは世界を変える」

R.I.2720地区 ガバナー 膳所和彦

熊本G.R.C.テーマ 「奉仕の輪を広げよう」

熊本グリーンRC会長 江上泰弘

世界に希望を生み出そう



■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：江上泰弘 ■幹事：山口 翼 ■会報担当：西本周平
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1501回

2023 - 2024 年度 第16回

令和5年11月27日

【例会】

★ 熊本グリーン RC・熊本北 RC 合同例会式次第 ★

日時:令和5年11月27日(月)18:30~

場所:熊本ホテルキャッスル 地階 「クリスタルホール」

★例会(18:30)

司会 田中 純司 S.A.A. (熊本グリーン)

点鐘 江上 泰弘 会長
ロータリーソング「奉仕の理想」
来訪者紹介 江上 泰弘 会長(熊本グリーン)
会長スピーチ 江上 泰弘 会長(熊本グリーン)
〃 和田 明大 会長代理 (熊本北)
幹事報告 山口 翼 幹事 (熊本グリーン)
出席報告 齋藤 義鷹 会員(熊本北)
〃 村上 芳明 会員(熊本グリーン)
委員会報告
スマイル報告 田代 武 会員 (熊本グリーン)
〃 中尾 潤一 会員 (熊本北)



★卓話(19:00)

卓話者紹介 河島 一夫 会員

「ウクライナ戦争を紐解く」 元 NHK ディレクター 馬場 朝子氏

点鐘(20:00) 和田 明大 会長代理 (熊本北)

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓話予定

- 12/4 ★熊本グリーンローターアクトとの合同例会
「熊本グリーンRAC半期活動報告と下半期の活動計画」
- 12/11 クラブフォーラム
「当クラブがホストを務める 熊本市域17RC合同新春合同例会の役割分担について」
- 12/18 ★例会内で「年次総会」を開催
「年忘れ家族会」(於:ホテルキャッスル 11F「トゥールドシャトー」)

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

会長スピーチ (江上 泰弘 会長)

今晩は、今日の例会は北クラブとの合同例会です。北ロータリークラブの皆様、夜の例会へようこそいらっしゃいました。

この合同例会は、2007年に当時第3分区のガバナー補佐をされていた中尾さんからお話があり始まったようです。今年で16年目になるようです。北クラブは、現在、会員数は少ないのですが皆さんガバナー補佐や地区の委員を経験されて地区の色々なクラブの情報もたくさんお持ちだと思います。私たちグリーンクラブの運営や奉仕活動の参考になる情報をたくさんお持ちだと思います。この機会に親睦を深めお話を聞ければと思います。

また、今日の卓話は時間を延長して元NHKディレクターの馬場朝子様にロシアとウクライナの戦争の経緯等の卓話です。ソビエト時代からロシアに精通されています。宜しくお願い致します。

幹事報告 (田中 純司 元幹事)

〈例会変更・取り止め〉

●例会変更

[熊本南 RC]

12月4日(月)の例会は、年次総会・年忘れ家族会のため、同日18:30よりホテル日航熊本にて行います。

[熊本城東 RC]

12月11日(月)の例会は、クリスマス家族例会のため、当日18:30よりホテルキャッスルにて行います。サインメーキャップは致しません。

[熊本東 RC]

12月19日(火)の例会は、年忘れ家族会のため、同日18:00よりホテルキャッスルにて行います。

[熊本東南 RC]

12月20日(水)の例会は、年忘れ家族会のため、当日18:30よりホテルキャッスルにて行います。

[熊本北 RC]

12月21日(木)の例会は、年忘れ家族会のため、同日18:30よりホテルキャッスルにて行います。

●例会取止め

[熊本南 RC]

12月25日(月)の例会は、定款に基づき取り止めます。なお、サインメーキャップは致しません。



出席報告 (齋藤義鷹 会員)

	会 員 総 数	21名	出 席 率
11 月 27 日	出席免除会員数	0名	66.67%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	14名	
10 月 30 日	前回の出席会員数	名	休 会
	メイクアップ数	名	
	修正出席会員数	名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
な し			

スマイル

(田代 武会員 (熊本グリーン))

●熊本北RC全員スマイル

「馬場朝子先生にご質問です、古稀を迎えたプーチンに子供が泣き叫ぶような戦争はやめなさいと、面と向かって諫言できる人はバイデン大統領以外に世界にいないのでしょうか？」

「小畑成司会員(熊本東南RC)のご来訪を大歓迎してスマイルさせていただきます。」

●小畑 成司 君(熊本東南RC)

「大変ご無沙汰しております。2020年2月にネパールに添乗員として御一緒したのが最後でそれからコロナの為、3年間仕事なしになりましたが、何とか生き延びられました。今日は馬場さんの卓話を楽しみに出席させていただきました。」

●江上泰弘君、山口 翼君

「本日は熊本北ロータリークラブとの合同例会になります。卓話者の馬場朝子様卓話を楽しみにしております。又、熊本東南RCより小畑様にお越し頂いております。本日は宜しくお願い致します。」

●田中 慎二君、宮部 康弘君

「馬場様、小畑様のご来訪、心より歓迎致します。熊本北RCの皆様とウクライナ戦争について見識を深める事が出来る時間を楽しみにしておりました。馬場様、本日は宜しくお願い致します。」

●河島 一夫君、栗山 義則君

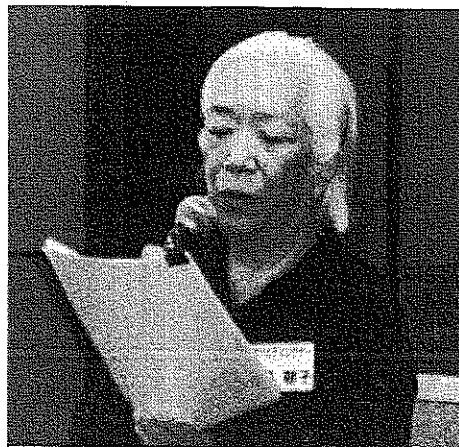
「今日の卓話はウクライナとロシアに大変精通されている馬場朝子さんです。今でも電話で状況を常に聞かれています。」

●松村 秀逸君

「本日の卓話者、馬場朝子様に心から感謝しスマイル致します。」

●田代 武君、荒木 一之君

「本日は、熊本北ロータリークラブとの合同例会。元NHKディレクター馬場朝子様の卓話楽しみにしております。また、熊本東南RCより小畑様にお越し頂いております。どうぞ宜しくお願い致します。」



卓話者 元NHKディレクター 馬場 朝子氏

氏名	所属政党	在任期間
レオニード・カラシェニコフ Леонид Макарович Караченко Leonid Makarovich Karachenko	親露派	1991年12月5日 - 1994年7月19日
レオニード・ダニロウチク Леонид Данилович Кучма Leonid Danilovich Kuchma	中立派	1994年7月19日 - 1999年1月14日
ウラジーミル・ユシチェンコ Владимир Юрьевич Ющенко Vladimir Yurievich Yushchenko	親米ウクライナ	1999年1月14日 - 2005年1月23日
ヴィクトル・ヤヌコーヴィチ Віктор Федорович Янукович Viktor Fedorovich Yanukovich	親露派 (地域別(東部と西部))	2005年1月23日 - 2010年2月22日 (2014年2月より逃亡)
アレクサンドル・トルモシェンコ Александр Валентинович Турчинов Alexander Valentinovich Turtsynov	ネオナチ主義 (親露)	2010年2月22日 - 2014年6月7日
ペートル・ポロシェンコ Петро Порошенко Poroshenko Petro Oleksandrovich Poroshenko	親米派 (Ukraine, Petro Poroshenko, Petro Oleksandrovich Poroshenko)	2014年6月7日 - 2019年5月20日
セルゲイ・ペレシキン Сергей Владимирович Песков Sergey Vladimirovich Peskov	プーチン大統領の報道官	2000年5月20日 - 2020年5月20日

卓話資料 ロシアの大統領

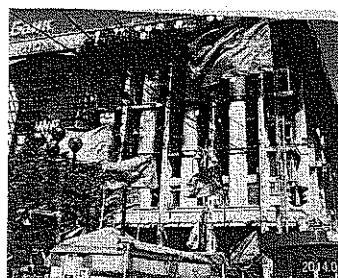


和田 明大 会長代理 (熊本北)



卓話写真

屋根を作って生活を続ける街の人々



破壊されたウクライナの建物
ロータリー本部ウェブサイトより



米国の人種隔離政策のただ中で

ポリオ感染拡大防止に取り組んだ黒人医師や研究者たちのストーリー

文：Kate Silver

マイロン・トンブソンさんに起こったことは、わずかな体の異変から始まりました。ポリオがアメリカ南部で猛威を振るっていた1949年、2歳の小さな幼児は高熱で苦しみ出し動けなくなりました。恐怖にかられた彼の母親は、近くにあるアラバマ州タスキーギの病院に駆け込みました。4本の円柱で支えられた玄関がある壮大な赤レンガの建物は、まるで威厳のあるホテルのようでした。そこではポリオに罹患した子どもへの対応に特化した医師や看護師が両手を広げて患者を迎え入れ、ただちに治療が始められました。

病気の黒人の子どもが一流の治療を受けられたことがどれほど素晴らしい幸運だったか、トンブソンさんが気が付いたのは何年も後のことでした。彼が治療を受けたジョン・A・アンドリュース記念病院小児麻痺センターは黒人大学のキャンパス内にあり、ポリオにかかった黒人の子どもの治療に特化した米国唯一の施設でした。当時、南部諸州の州法として存在したジム・クロウ法により、病院が黒人患者を追い返したり、受け入れたとしても場所を白人と分け低レベルの治療を施すことは当たり前のことでした。「ただ治療を受けたというだけではありません」と話すトンブソンさんの声は柔らかに控えめで、縁眼鏡の奥から真剣な眼差しが向けられます。

「私への対応は尊厳にみちたものでした」

タスキーギ研究所は特別な場所でした。トンブソンさんのような子どもたちへ質の高い治療を行なう病院であり、また黒人の研究者たちが最初のポリオワクチンの開発に重要な役割を果たし、米国内でのこの致命的な病気を根絶するための研究を行っていた場所でした。

人種隔離政策がなされた国の深い影に隠れたこの物語は、未だに正当性が認められていません。アラバマ州では、ロータリーの第6880地区がそれを変える取り組みを行なっています。

サム・アダムスさんにとって、ことの始まりはスイミングプールでした。

2017年、彼は第6880地区のガバナーノミニーとしてロータリー財団年次基金への寄付を集めるため、アラバマ州南部のロータリークラブを回って会員のもとを訪ねていました。タスキーギの高速道路を降りてすぐの簡素な食堂で会員から聞いた二つの話が、アダムスさんの心に火を付けました。一つはロータリーの創始者ポール・ハリスが、1940年代にタスキーギを何度か訪れ冬を過ごしていたという話です。もう一つは、フランクリン・ルーズベルト大統領の指導により、タスキーギの町にポリオ患者のための屋内プールが、市民保全部隊の手によって建設されたという噂です。同大統領は30代の頃にポリオを患っていました。

「『冗談でしょう?』と私は言ったんです」。モンゴメリー・ロータリークラブの会員であるアダムスさんは振り返ります。「ポリオと関係のある話で、とても興味深く感じました」

アダムスさんは歴史愛好家です。しかし話を聞いたその日までタスキーギについて彼が最もよく知ることと言えば、多くの大学、公共のプールや図書館で黒人による利用が許されなかった時代に、第二次世界大戦で国のために戦った、米軍初の黒人航空部隊であるタスキーギ・エアメンでした。米国公衆衛生局によるタスキーギ梅毒研究についても知っていました。1932年から1972年の間、研究者や医師が梅毒にかかった何百人もの黒人男性に嘘をつき、治療なしの経過観察を行なった研究です。患者のほとんどが貧しく字が読めませんでした。長い間人びとに苦痛を与えたこの出来事は、後に人権侵害に対する啓発のシンボルとなりました。

興味をそそられたアダムスさんは、プールの場所を突き止めるための調査を始めました。やがて、アダムスさんが地区ガバナーを務めた後にガバナーノミニーを務めた、ブルース・マクニールさんの協力を得ます。マクニールさんはあらゆる調査を行ないました。その過程でタスキーギ大学の歴史学准教授で公文書保管人であるダナ・チャンドラーさんとつながり、一気に運が開けます。